

令和5年2月9日
交 通 局

交通政策について
(市営バスの現状と今後について)

1 乗合バスの現状、今後の取り組み

(1) 令和4年度上半期の乗合バスの収支状況

市営バスの乗合収入は、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響から回復しきれておらず、厳しい状況がなお続いている。

・黒字路線：12系統(14.8%) ・赤字路線：69系統(85.2%)

(2) 今後の検討の方向性

厳しい経営状況や、乗務員不足を踏まえ、市営バス事業の存続維持のため、以下の検討を進めている。

- ① 経費削減と増収対策(車両台数の削減、広告収入の増など)
- ② 路線ごとの収支状況の公開
- ③ 効率的・効果的なダイヤ編成の見直し
- ④ より適正な運賃体系の研究
- ⑤ 公共交通としての市営バス事業のあり方の検討

2 路線ごとの利用状況について

(1) 目的

上記の経営改善の取り組みを推進するためにも、市民の皆様には現状についての理解を深めていただくため、令和4年11月に、市営バスの路線ごとの利用状況を公開した。

(2) 概要

上半期は、乗合バス全体として、100円の収益を上げるために約132円の費用を要している状況。

3 アンケート調査の実施

市営バスに対しての意見聴取のため、ホームページやバス車中、沿線自治会長にアンケート調査を実施した。

- ① 実施期間：11月18日（金）～12月16日（金）
- ② 回答数：303件
- ③ 回答内容
 - ・ 運行ダイヤ：増便の意見半数以上
 - ・ 車両：バリアフリー化の促進、小型化による経費節減の意見多数

4 ダイヤ改正について

令和5年3月18日（土）に、利用状況等を踏まえ、ダイヤ改正を実施する予定。

- ① 一部路線廃止、見直し
 - ・ 芦屋～小倉（特急便）の路線及び系統を廃止
 - ・ 黒崎線を、5→2系統に整理（うち1系統はマイクロバスで運行）
- ② 利用者の少ない平日昼間便などの減便
（参考）①②の結果、全体で10.8%減便

区分	改正後	改正前	増減	増減率
平日（245日）	694便	792便	△98便	△12.4%
土曜（48日）	553便	597便	△44便	△7.4%
休日（72日）	370便	382便	△12便	△3.1%
年間	223,214便	250,200便	△26,986便	△10.8%

- ③ 利用実態に合わせた早朝便の繰下げ、深夜便の繰上げ
 - ・ 早朝便（5時台）最大20分
 - ・ 深夜便（23時台）最大47分
- ④ お買い物バスの見直し
 - ・ 高塔山コース：利用の少ない便を利用の見込める時間帯に変更
 - ・ 石峰山（百合野・大池）コース：バス停を増設